

# 大和郡山 防災ニュース 31.1月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、動きや情報を提供します。

## 消防団と連携した防災まちづくり！

### 出初式にご参加ありがとうございました！

去る1月13日(日)恒例の出初式が矢田総合公園で開催されました。今年から、毎年1月7～13日の日曜日に開催することとなった出初式、表彰時の祝賀演奏や分列行進のマーチ演奏を郡山西中学校吹奏楽部の皆さんにお願いしたほか、矢田認定こども園の園児による「防火の誓い」も行い、自治連合会役員13名、自主防災組織役員54名をはじめとして多くの市民の観覧者がお越しいただき、以前にも増して、市民に根付いた式典となってまいりました。また、昨年8月消防練法大会に出場した外川分団が操法の披露を行ったほか、恒例の放水披露では晴天に恵まれた会場に5つの水の帯が虹を描き、観客からは大きな拍手が起こりました。



### 市内19の分団、市民ボランティアの団員が分担して 市内各地域の安全、安心を確保！

消防団員は、日常は自分の仕事を持ちながら、いざ火事となった時集合し、現場に駆けつける、市民ボランティアです。昨年も、主な活動として西日本豪雨の際の行方不明者捜索や小泉町の倉庫大規模火災消火活動に携わりました。また、消防署と連携して、消火後の火災現場の再燃防止のため、冬の寒い夜も何時間も現場待機するなど、街の安全のため貢献しています。

### 防災訓練にも参加！

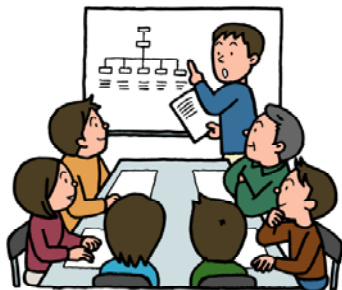
大災害での消防団活動は、東日本大震災での体を張った消防団員の活躍などで皆さんよくご存じだと思います。本市消防団も去る11月筒井小学校で開催の市防災訓練において、地元の第六分団が避難誘導や避難所開設



訓練に参加、また広報指導分団がエコノミークラス症候群を防止する「避難所体操」を披露しました。さらに当日少年少女消防士体験教室を開催し、将来の消防士や消防団員であるこどもたちへの体験指導を行いました。また自治会等地域で開催する訓練でも消防団員の参加する風景が見られます。

## 地域の防災活動を共に考え、活動！

平成28年から開催し、地域と消防団が防災の課題を共有する「『自主防災組織』と『消防団』防災のつどい」も今年の5月で4年目を迎えます。



この「つどい」がきっかけで、市主催防災訓練や避難所運営マニュアル(案)づくりが始まりました。11月号でもお伝えしましたが、マニュアルづくりも、避難所開設訓練での地元のご意見を参考に地域の実情に合ったものに移行してきています。また、自主防災組織と消防団と一緒に地域の消火栓の見回り活動を行うなど、少しずつですが地域と消防団とのつながりも出てきています。

## 将来への持続的な消防団活動に向けて！

消防団活動はボランティア志願された市民により成り立っていますが、分団によっては自治会毎に団員数を割り当てるなどその確保の方法にも地域性があるようです。ただ、全体的にその成り手が減っているのが現状で、今後は女性や高齢者、市内在勤者にまでエリアを広げた団員確保策が必要になり、そのための受け皿づくりを団と市が共に考える時期が来ていると感じます。

大和郡山防災ニュースは、市のHPでもご覧になれます

大和郡山防災ニュース	検索
------------	----

↗

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ！』をご覧ください！

大和郡山市消防団へようこそ	検索
---------------	----

↗

発行人 市役所市民安全課